

日本コミュニティ心理学会第28回大会

「つくりなおすコミュニティ」

第2号通信 2025年06月20日

I 大会概要

1. 大会概要

【基本事項】

- ・ 日程 : 2025年9月19日(金)～21日(日)
 - ※9月19日(金)はフルオンライン形式(Zoom)で実施します
 - ※9月20日(土)は対面形式(九州大学箱崎サテライト)で実施します
 - ※9月21日(日)にはエクスカージョン(対面会場周辺)を実施します
- ・ 開催形式 : フルオンライン・対面
- ・ 会場 : 九州大学 箱崎サテライト・旧工学部本館(福岡市東区箱崎6-10-1)
 - ※ 対面会場は第28回大会運営委員会事務局の住所とは異なりますのでご注意ください。
 - ※ 臨床心理士資格更新制度の「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」としてポイントを取得できます。
 - ※ 日本公認心理師協会「テーマ別研修」登録も申請中です。
 - ※ 災害等によって学会大会を中止する場合は、前日正午までに大会運営委員会から連絡します。

2. スケジュール

日程		7月4日	7月26日	8月1日	8月29日	9月12日	9月18日
		金	金	金	金	金	木
ポスター発表	責任 発表者※1	予約参加申込・原稿提出		原稿著者校正			
	連名 発表者	予約参加申込		(オンライン発表者のみ)ポスターのアップロード			
	企画 代表者※1	予約参加申込・原稿提出	選考 結果通知	原稿著者校正			
会員 自主企画	登壇者 (会員)	予約参加申込					
	一般参加(会員)※1	予約参加申込					
一般参加(非会員)		予約参加申込					

※ ポスター発表および自主企画の締め切りを **7/4 まで延長しました**。再延長はしません。

II 基調講演・大会企画シンポジウム・エクスカージョン概要

1. 基調講演 (9/19 午後7時 実施予定：フルオンライン形式)

コミュニティ心理学とアクションリサーチ ー防災・減災活動の現場からー

【講師】

・矢守 克也 (京都大学 防災研究所)

【要旨】

本講演では、コミュニティ心理学とアクションリサーチの交差点に注目し、とりわけ防災心理学の観点から、住民参加型の実践とその理論的基盤について解説する。災害多発国である日本において、地域社会の防災力を高めることは急務であり、行政主導の防災教育や訓練だけでなく、住民一人ひとりが主体的に関与し、協働しながら学び合うプロセスが重要となる。その中で、心理学者が地域に入り込み、地域住民や行政、専門職とともに課題を発見し、解決策を共に探るアクションリサーチは、極めて有効な枠組みである。

講演では、講師が関わってきた実践事例—たとえば個別避難訓練アプリ「逃げトレ」などの取り組みを通じて、地域の多様な住民が対話を重ねながらリスクを可視化し、主体的な避難行動を促すプロセスを紹介する。これらの実践は、コミュニティ心理学が重視する「エンパワメント」や「パーティシペーション」の概念と深く結びついており、研究と実践を往還することで得られる知見の意義を改めて強調したい。

また、実践を進める中で直面する倫理的課題、研究者の立ち位置、住民との信頼関係の構築など、アクションリサーチの持つ複雑さや可能性についても論じる。コミュニティ心理学が本来的に持つ変革志向と、現場での丁寧な協働の積み重ねが、いかに災害に強い地域をつくるか、その理論的・実践的示唆を提示する。

【講師紹介】

矢守 克也 (やもり かつや)

京都大学防災研究所・巨大災害研究センター 教授。

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得退学。博士(人間科学)。

ヨハネス・ケプラー大学客員教授、ウィーン環境大学客員研究員などを経て現在に至る。専門は、社会心理学、防災心理学。

主著に、「書とともに現場に出よう：アクションリサーチ・オン・ブックス」(新曜社、近刊)「天変地異のオープンサイエンス：みんなで作る科学のカたち」(新曜社)、「アクションリサーチ：実践する人間科学」(新曜社)、「アクションリサーチ・イン・アクション：共同当事者・時間・データ」(新曜社)、「避難学：『逃げる』ための人間科学」(東京大学出版会)、「防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション」(ナカニシヤ出版)、「巨大災害のリスク・コミュニケーション」(ミネルヴァ書房)など。学会関係では、現在、地区防災計画学会会長、日本自然災害学会副会長・評議員、日本災害情報学会副会長、日本質的心理学会理事、日本災害復興学会理事、国際総合防災学会理事、などを務める。

【基調講演についての備考】

9月19日(金)の矢守克也先生の基調講演(フルオンライン形式)は、後日オンデマンド配信をする予定です。講師の先生との質疑応答の時間も設けるので、可能な限りリアルタイムでのご参加を検討いただきたいですが、移動等の都合でリアルタイムに基調講演の聴講ができない方は、オンデマンド配信にて基調講演をお聞きください(Peatixの参加登録をした方にのみ、オンデマンド配信のURLを後日送付します)。

【基調講演の申し込み方法】

参加人数の事前把握のために、基調講演(9月19日(金)フルオンライン形式)の参加を検討している方は、専用フォーム(<https://forms.gle/VIVxaiNPBTcJu8N6>)に9月12日までにお申し込みください。

2. 大会企画シンポジウム (9/20 実施予定：対面形式)

コミュニティの変容と継承 ー箱崎地区の再開発をめぐるコミュニティの動きー

【登壇者】

- 話題提供** ・高寄 浩平 (九州国際大学 法学部)
指定討論 ・板東 充彦 (跡見学園女子大学 心理学部)
・木下 寛子 (九州大学 大学院人間環境学研究院)
- 司会** ・三島 美佐子 (九州大学 総合研究博物館)
・杉山 高志 (九州大学 大学院人間環境学研究院)

【要旨】

本シンポジウムでは、福岡市東区・箱崎地区で進行している再開発のプロセスに注目し、そこに関わる多様なアクターによる実践を通じて、都市の変容とともにコミュニティの姿を描き出すことを目的とする。かつて九州大学箱崎キャンパスが立地していたこのエリアは、大学移転後に広大な土地が再開発の対象となり、都市計画や不動産開発を中心とした大きな変化に直面している。その一方で、こうした再開発がもたらすのは、物理的な景観の変化だけではなく、地域の記憶、人と人とのつながり、日常の営みといった資源の再構築をも含んでいる。

本シンポジウムでは、「コミュニティの変容と継承」というテーマのもと、多様な視点から箱崎地域の変容にどのように関わり、対話を重ね、行動しているのかを議論する。再開発によって失われるものと新たに生まれるもののあいだで、人々はいかにして関係性を再構築し、地域の未来を形づくろうとしているのか。そこには、コミュニティ心理学が重視する「パーティシペーション」「エンパワメント」「ナラティヴ」などの視点が存在しており、都市変容に伴う不確実性の中で、人々が自らの声を取り戻し、場を立ち上げていくプロセスが見えてくる。

話題提供者の高寄浩平先生は、まちづくりの現場に参加しながら、住民の語りや地域資源の変化に関する調査を行ってきた立場から、箱崎地区における実践と対話の蓄積について報告する。

また、指定討論者として、板東充彦先生、木下寛子先生を迎え、コミュニティ心理学などの立場から、地域における変化、再構築の心理的・社会的側面について議論を深める。再開発のような大きな力のもとで、いかにして多様な立場の人々が語り合い、協働しながらコミュニティの営みに関わっているのか。本シンポジウムでは、現場に根ざした実践と理論的視座を交差させ、変化の時代におけるコミュニティ心理学の可能性を探っていく。

【大会企画シンポジウムについての備考】

本シンポジウムは、一般公開いたします。非会員（対面会場の近隣にお住まいの方など）で、本シンポジウムのみを聴講する方は、無料で参加できます。

3. エクスカーション (9/21 午前中 実施予定：対面形式)

コミュニティの変容と継承 ー箱崎地区の再開発をまちあるきで実感するー

【講師(案内人)】

- ・三島 美佐子 (九州大学 総合研究博物館)
- ・高嵯 浩平 (九州国際大学 法学部)

【要旨】

本企画では、福岡市東区・箱崎地区における都市再開発の現場を実際に歩きながら、地域の歴史や文化、そして再開発をめぐる現在の動きを体感的に理解することを目的とする。かつて九州大学箱崎キャンパスがあったこの地域は、大学移転後、広大な敷地を中心に再開発が進められている。この再開発は、物理的な風景を変化させるとともに、地域コミュニティの構造や住民の関係性にも大きな影響を与えている。

案内役は、地域と大学博物館との「共創協学」のあり方を模索している三島美佐子先生(九州大学 総合研究博物館)と、箱崎地区のまちづくりに関わり続けている高嵯浩平先生(九州国際大学 法学部)である。2人の案内のもと、参加者は再開発の進行に伴って生まれた空間の変化を目にしながら、地域の文化資源や住民の語りに触れることで、「コミュニティの変容と継承」の姿を捉えることができる。

現地を歩くことで、土地に刻まれた記憶や、再開発によって失われるもの、残されるものへの感覚的な理解を深めることが本企画の狙いである。まちあるきを通して、都市変容に伴う心理的・社会的な影響を実感し、コミュニティ心理学の視点から地域の変化にどう関わるかを会員が考えるきっかけとなることを期待している。

【集合場所】

- ・旧工学部本館(学会大会の会場)の1階入口

【エクスカーション中の荷物のお預かり】

- ・9月20日(土)の大会会場(旧工学部本館)にて、エクスカーションの参加者の荷物をお預かりします。

【エクスカーション中の注意】

- ・猛暑の可能性があるので、飲み物や帽子を各自持参いただき、熱中症対策をお願いします。

【エクスカーションの申し込み方法】

- ・参加人数の事前把握のために、エクスカーション(9月21日(日)対面形式)の参加を検討している方は、専用フォーム(<https://forms.gle/H3qi6w2cussusE4z8>)に9月12日までに申し込みください。申し込み多数の場合は、締め切り前に募集終了になる可能性がありますのでご了承ください。

Ⅲ その他

1. ポスター発表による優秀発表賞

- ・第1号通信(2025年4月発行)では、「大会における学会員の発表のうち、特に優秀な発表に対して優秀発表賞が授与されます」と告知していたポスター発表の優秀発表賞について、追加情報をお伝えします。
- ・ポスター発表の対面形式・フルオンライン形式問わず、審査対象になります。

2. その他

- ・大会期間中に開催される基調講演やエクスカージョンに参加を検討している方は、参加人数の事前把握のために、各専用フォームに9月12日(金)までにお申し込みください。
- ・本通信に掲載していない学会大会についての情報は、第1号通信(2025年4月発行)の方に明記しておりますので、そちらの内容をご確認ください。

Ⅳ 関連 HP およびお問い合わせ先

1. 大会関連ページ

- 第28回大会ホームページ
<http://jscpl998.jp/taikai/2025/2770/>
- 大会参加申し込みページ (Peatix; 予約参加締め切り: 2025年9月12日(金))
※Peatix の大会参加申し込みページで表示される、日本公認心理師協会「専門認定制度」に関わるテーマ別登録の申請に向けたアンケートにもご協力ください。
<https://jscp2025.peatix.com/>
- ポスター発表申し込みフォーム (締め切り: **2025年7月4日(金) ※再延長はしません**)
<https://forms.gle/s6Tstz4qBgDxMako8>
- 自主企画申し込みフォーム (締め切り: **2025年7月4日(金) ※再延長はしません**)
<https://forms.gle/8EhadG22wQP2tVh8>
- 基調講演申し込みフォーム (締め切り: 2025年9月12日(金))
<https://forms.gle/VlVxauNPBTcJu8N6>
- エクスカージョン申し込みフォーム (締め切り: 2025年9月12日(金))
<https://forms.gle/H3qi6w2cussusE4z8>

2. 大会全般に関するお問い合わせ

■ 第28回大会運営委員会事務局

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744

九州大学 大学院人間環境学研究院 杉山高志研究室 宛

E-mail: sugiyama.takashi.294[at]m.kyushu-u.ac.jp

※[at]を@に変えて送信してください

3. 学会入会、会員情報変更、年会費等に関するお問い合わせ

■ 学会会員管理事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内

TEL: 03-6824-9375 FAX: 03-5227-8631

E-mail: jscp-post[at]as.bunken.co.jp

※[at]を@に変えて送信してください

受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00